

❖ 会員一覧

団体会員(順不同)

亀山市
亀山市議会
亀山市教育委員会
亀山市農業委員会
亀山市自治会連合会
亀山ライオンズクラブ
亀山ロータリークラブ
亀山商工会議所
(一社)亀山青年会議所
亀山青年会議所シニアクラブ
鈴鹿農業協同組合亀山地区
三重茶農業協同組合
亀山市婦人会連絡協議会
亀山地区労センター
(一社)亀山市観光協会
鈴鹿森林組合
(一社)三重県建設業協会 亀山支部
亀山地区労働者福祉協議会
亀山市地域まちづくり協議会連絡会議

[19団体]

企業会員(五十音順)

アパホテル(三重亀山)
株安全
㈲いとう弁当店
㈱イチワン 亀山製作所
NTNアドバンストマテリアルズ㈱
カメヤマ㈱
亀山瓦斯(有)
亀山急送㈱
㈱亀山ショッピングセンター
亀山製絲㈱
北伊勢上野信用金庫 亀山支店
協同油脂㈱ 亀山事業所
高庄昭和ポンベ㈱
好福堂
㈲小菅金物
㈱三扇
㈱ジエイテクト 亀山工場
島内建設㈱
シャープ㈱ 亀山事業所
昭和パックス㈱ 亀山工場
白川建設㈱
㈲シラカワ
鈴鹿インター㈱
㈱スチールセンター 亀山事業所
㈱セキデン
㈱大紀アルミニウム工業所 亀山工場
㈱第三銀行 亀山支店
㈱タクティー 亀山物流センター

田島シルク㈱
中日運輸㈱
中部電力㈱ 電力ネットワークカンパニー 鈴鹿営業所
東海労働金庫 亀山支店
東洋電装㈱ 亀山工場
㈱栎木屋
㈱長田建材店
㈲ニシムラ
日東电工㈱ 亀山事業所
パナック㈱ 亀山工場
㈱百五銀行 亀山支店
㈱プラザチェーン
古河電気工業㈱ 三重事業所
堀田建設㈱
㈱ホンダオート 三重亀山店
マルミ化粧品店
㈱三重銀行 亀山支店
三星電機商会
㈱ミヤガク中京(カメヤマドライバーズスクール)
㈱宮長
㈲むかい
㈱村山ガス
㈲保田ガラス店
柳河精機㈱ 亀山工場
山川運輸㈱
㈱ヤマシタコーポレーション 三重事業所
㈱米津グリーンメンテ
リケンテクノス㈱ 三重工場

[56社]

■ 在来線 ~もっと乗って!もっと便利に!~

JR東海 関西本線のIC乗車券サービスの利用可能エリアが今月2日から拡大され、関西本線 名古屋・亀山間の全区間において、TOICAなどのIC乗車券が利用できるようになりました。

このIC乗車券サービスの利用エリア拡大は、乗車券の購入の手間が省けることだけでなく、定時運行にもつながり、市民や本市への来訪者の利便性を大きく向上させるものです。

これを契機に、鉄道の利用を増やし、IC乗車券サービスの利用可能エリアのさらなる拡大や乗継時間の改善等、利便性の向上につなげていきましょう。

当市民会議では、引き続き、「もっと乗って!もっと便利に!」を合言葉に、鉄道利用の促進を図り、在来線の利便性の向上に向けた取り組みを積極的に進めています。



リニア中央新幹線・JR複線電化推進亀山市民会議会報

第7号 [平成31年3月]



リニア亀山中間駅 イメージパース

会長のあいさつ



リニア中央新幹線・JR複線電化推進亀山市民会議 会長

亀山市長 櫻井 義之

陽春の候、皆さんにおかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、リニア中央新幹線の整備につきましては、東京・大阪間のうち、2027年の先行開業を目指す東京・名古屋間においては、2014年12月の工事着工以降、各地で駅やトンネルなどの工事が順調に進んでおります。また、名古屋・大阪の整備につきましては、全線開業の最大8年間の前倒しに向けた総額3兆円にも及ぶ財政投融資を活用した国の支援が実施されております。このように、リニア中央新幹線の整備は、国家的プロジェクトとして、着実に、そして、力強く前進しており、「夢」から「現実」への新たなステージの段階にきております。

一方、在来線につきましては、今春からIC乗車券サービスの利用可能エリアが拡大され、利便性が大きく向上いたしました。ぜひ、これを契機に皆さんにもより一層の鉄道利用を図っていただき、さらなる在来線の利便性向上につなげてまいりましょう。

当市民会議といしましても、引き続き、リニア中央新幹線の全線早期開業、「リニア亀山駅」の実現、そして、発足当初からの目標である関西本線や紀勢本線の複線電化など、交通拠点性の向上と在来線のさらなる利便性向上に向け、関係機関と協力しながら、幅広い活動を精力的に展開してまいりますので、今後とも、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

リニア亀山中間駅開業による影響・効果

東京・名古屋間の先行開業及び東京・大阪間の全線開業の際に亀山市内に停車駅が設置された場合の社会的・経済的な影響・効果についてご紹介します。

時間短縮効果

亀山市から各都道府県への所要時間の短縮効果

図1 東京・名古屋間開業時の時間短縮効果

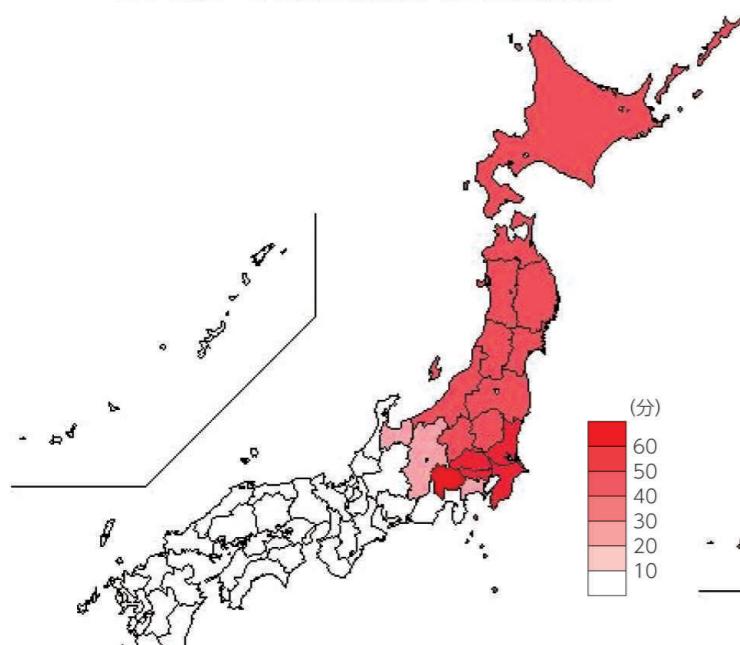
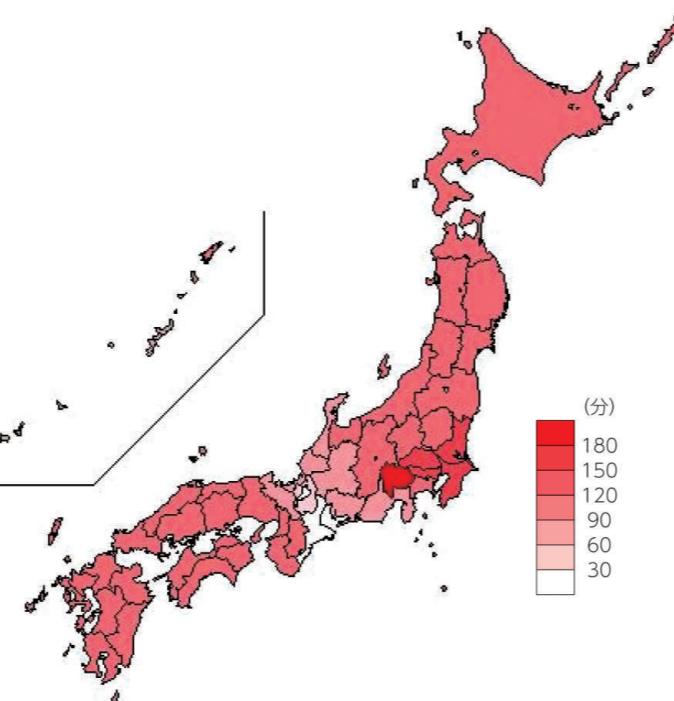
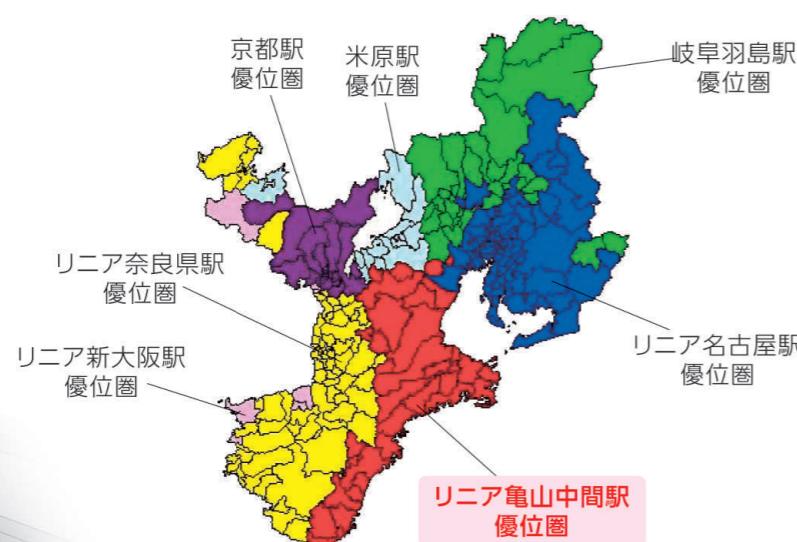


図2 全線(東京・大阪間)開業時の時間短縮効果



東京への所要時間からみた新幹線・リニア駅の優位圏(全線(東京・大阪間)開業時)



■主な都道府県への所要時間と短縮時間

	現 在	東京・名古屋間開業時		全線(東京・大阪間)開業時 (リニア亀山中間駅利用)	
		所 要 時 間	所 要 時 間	短 縮 時 間	所 要 時 間
宮城県	5時間49分	5時間05分	44分	3時間56分	1時間53分
東京都	4時間03分	3時間06分	57分	1時間57分	2時間06分
山梨県	5時間34分	3時間36分	1時間58分	2時間11分	3時間23分
富山県	6時間13分	5時間45分	28分	4時間36分	1時間37分
奈良県	2時間20分	2時間20分	—	38分	1時間42分
大阪府	2時間56分	2時間56分	—	1時間09分	1時間47分
福岡県	5時間49分	5時間49分	—	4時間00分	1時間49分

全線開業で各都道府県へ1~2時間の所要時間短縮!

東京・名古屋間の開業により、亀山市から各都道府県への所要時間は、北海道・東北地域、関東地域、中部地域の一部、北陸地域の一部において短縮します(図1赤色部分)。所要時間の短縮効果が最も高いのは、リニア中間駅が設置される山梨県ですが、ほぼすべての東日本方面への所要時間が30分~1時間程度短縮される見込みです。

一方、リニア亀山中間駅が設置され、全線開業した際には、三重県を除く、すべての都道府県への所要時間が短縮します(図2赤色部分)。これは、東京・名古屋間の移動が新幹線からリニアに切り替えられることに加え、リニア利用により、名古屋・亀山間、亀山・大阪間の所要時間が大幅に短縮されるためです。全線開業により東日本方面、西日本方面ともに所要時間が1~2時間程度短縮される見込みです。

- 注釈
- ・計測経路において、出発地は亀山市役所、目的地は47都道府県庁とする。
 - ・国土交通省「NITAS(全国総合交通分析システム)」の経路探索結果などをもとに作成。
 - ・経路探索には、沖縄県を除き「鉄道モード」を利用。沖縄県のみ「(鉄道+航空)モード」を利用。

全線開業時には亀山のみならず、三重県内や近隣県の人にも利用される駅に!

図の赤色の部分(リニア亀山中間駅優位圏)は、全線開業時に東京へ行く場合、リニア亀山中間駅を利用する最も短い時間で到着できるエリアを示しています。

そのエリアは、三重県の北勢地域の一部を除く県内市町に加え、滋賀県の一部(甲賀市、湖南市、日野町)、奈良県の一部(山添村、御杖村、下北山村)、和歌山県の一部(新宮市、那智勝浦町、太地町、古座川町、北山村、串本町)を含む35市町村となっており、このエリアに住む人が関東方面へ行く際に当駅を利用することが見込まれます。

一方、関東方面からのアクセスも向上することから、観光客等の訪問による当駅の利用が期待できます。

- 注釈
- ・国土交通省「NITAS(全国総合交通分析システム)」の経路探索結果などをもとに作成。
 - ・各市区町村について、どの新幹線駅・リニア駅から乗車すれば、東京への所要時間が最も短くなるかを計測し、当該市区町村の乗車駅優位圏としている。

リニア亀山中間駅設置により予想される影響・効果

人口拡大の可能性

駅利用者増加 | 交流人口増加 | 通勤・通学圏拡大 | 居住人口増加

リニア亀山中間駅の設置は、発着にとどまらず、乗り換え等にも利用されることが考えられるため、リニア及び在来線の駅利用者増が見込まれ、亀山地域での交流人口増加が期待できます。また、リニア駅設置による他地域への時間距離が短縮されることから、通勤・通学エリアの拡大やこれによる居住人口増加につながることが期待できます。

経済・産業への波及

大都市近接 | 商業・ビジネスニーズの発生 | 本社・管理機能の立地、移転 | インフラ整備需要

リニアの開業により首都圏、関西圏との時間距離が大幅に短縮することから、リニア亀山中間駅を利用した往来が活発になり、亀山地域の商業・ビジネスニーズが増大することが見込まれるとともに、各都市圏や全国へのアクセスの利便性向上により企業が新たに立地することも想定されます。また、リニア亀山中間駅の建設や駅周辺整備などのインフラ整備に関する需要が高まると考えられます。

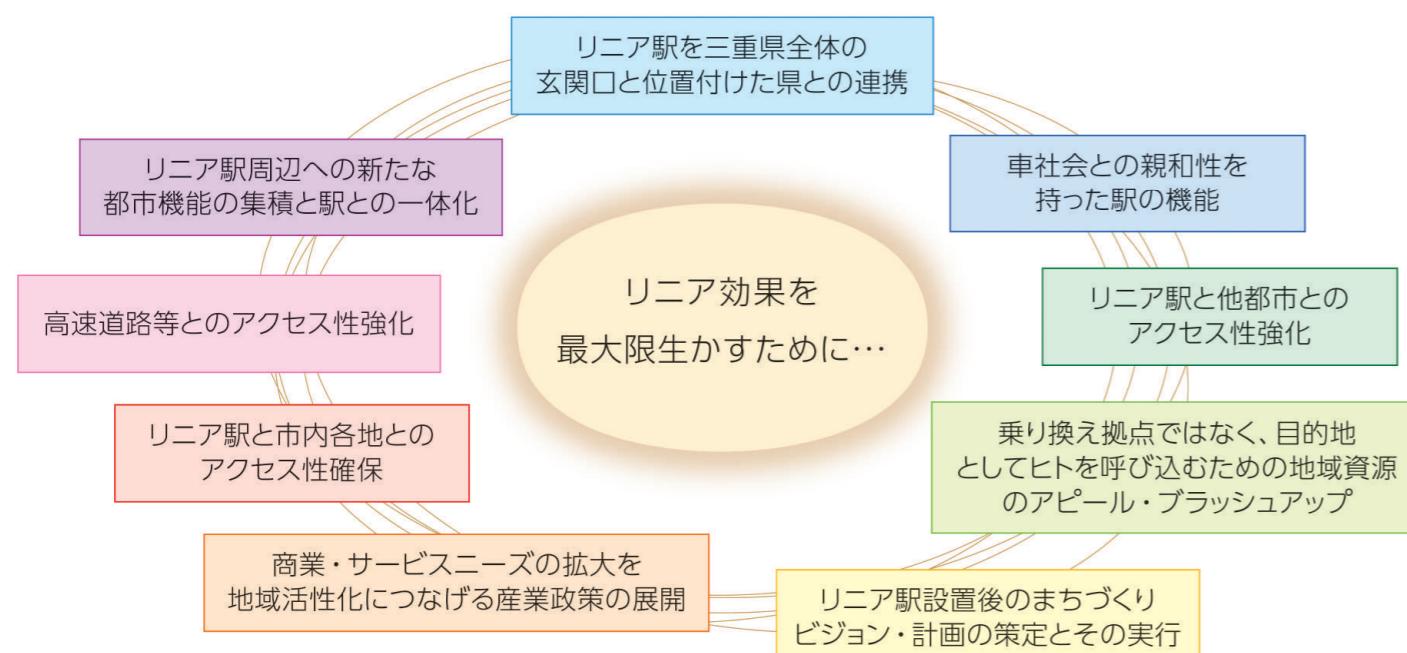
都市機能の拡大・整備の必要性

県の玄関口としての存在 | 交流・滞在のハブ拠点化 | 都市機能の必要性拡大 | ブランドイメージ向上 | 災害時リダンダンシー効果

リニア亀山中間駅が設置された場合、時間短縮効果は亀山地域のみならず、三重県、近隣県にまで幅広く及ぶことから、三重県の玄関口としての役割を担い、各目的地とを結ぶハブ拠点化すること、国・県レベルでの会議・イベント、スポーツ大会などの都市機能ニーズが生まれることが考えられるとともに、都市のブランドイメージの向上も期待できます。さらに、災害時のリダンダンシー（代替経路）効果として、危機管理の観点からも都市機能の他地域からの移転や新拠点の設置の可能性が考えられます。

リニア効果を最大限生かすために…

リニア効果を最大限生かすために、以下の事項が必要になると考えられます。



○今回ご紹介した内容は、亀山市が平成29年度に実施した調査「リニア中央新幹線中間駅設置・開業による影響把握調査」の一部です。
調査の詳細は亀山市ホームページからご覧いただけます。[亀山市 リニア](#)で検索ください。

リニア中央新幹線・JR複線電化推進亀山市民会議とは

年表

昭和42年	「国鉄複線電化推進亀山市民会議」として発足
昭和62年	国鉄の民営化に伴い、「JR複線電化推進亀山市民会議」に名称を変更
平成4年	複線電化推進活動にリニア誘致を位置づけ
平成6年	「リニア中央エクスプレス・JR複線電化推進亀山市民会議」に名称を変更
平成13年	市民対象のリニア試乗会を開始（～平成18年）
平成21年	「リニア中央新幹線・JR複線電化推進亀山市民会議」に名称を変更

当市民会議は、昭和42年5月に、国鉄複線電化の推進を目的に、亀山市長を会長とした市民各会代表による「国鉄複線電化推進亀山市民会議」として発足しました。平成4年にはリニア中央新幹線の早期実現と市内停車駅誘致を活動目標に追加し、平成13年から平成18年までは市民対象のリニア試乗会を開催するなど様々な取り組みを展開してきました。

今後も「LINEAR TO KAMEYAMA～新たなステージ、夢から現実へ!!」を合言葉にリニア中央新幹線の市内停車駅誘致、亀山市を中心とした複線電化の実現を目指し、関係機関と連携した強力な推進運動を展開していきます。

平成30年度の活動状況

総会・講演会

平成30年7月24日（火）、亀山市文化会館において、平成30年度の総会を開催しました。総会では、昨年度の事業報告や平成30年度の事業計画が承認されました。

また、総会終了後は、平成29年度に亀山市で実施した「リニア中央新幹線中間駅設置・開業による影響把握調査」に関する講演会を開催しました。



7/24 総会・講演会

次世代を担う子どもたちを対象とした取り組み

平成30年8月25日（土）、「リニア・鉄道親子学習会」を開催し、抽選で選ばれた18組39名の方とともにリニア・鉄道館と電気の科学館を訪れました。

また、平成30年11月10日（土）には、「青少年のための科学の祭典」でのブース出展を行いました。

見て、触れて、楽しみながら、超電導リニアの浮上の原理等を学ぶ機会となりました。



8/25 リニア・鉄道親子学習会



11/10 青少年のための科学の祭典

中央要望

平成31年2月7日（木）・8日（金）、リニア中央新幹線の市内停車駅の誘致、複線電化の促進を求めて、国や関係機関に対して要望活動を実施しました。

要望内容

○リニア中央新幹線

- ・三重・奈良ルートによる全線早期開業
- ・亀山市への停車駅の決定など

○複線電化

- ・亀山駅を中心とした複線電化の早期着手
- ・車両の増両・増便、乗継時間の改善等による利便性の向上など



2/7 国交省 要望風景